

# メタセコイア

(土屋中学校の樹)

<学校教育目標>

夢に向かって

～生徒には夢を 保護者には感動を 職員には技を～

第3号

令和5年6月1日発行  
さいたま市立土屋中学校  
さいたま市西区土屋1766-1  
Tel 048-622-4611  
✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

## 航海

～豪華客船？ 違う、海賊船だ！～

校長 澤田純一

最近夜明けが早くなりました。5時には夏の力強い太陽が大地を明るく照らし一日の始まりを私に告げます。そして、この季節、日中は気温が上昇しますが、早朝の少し冷たい空気感はとても清々しく、心を奪われるものですね。そのような中、私はプルート(秋田犬)と散歩に行くことが朝のルーティンとなっています。また、このプルートとの散歩中に様々なことを考えることができます。よって、私にとってとても貴重な時間なのです。にわかに、人生を振り返りつつ、あらためて考えてみました。

人生は「航海」に例えられることがよくあります。そして、残念ながら同時に二つの船に乗ることはできないこともよく言われます。では、現在皆さんの乗っている土屋号はどのような船か想像してください。皆さんの脳裏に浮かぶ船は日本最大級の豪華客船「飛鳥Ⅱ」のような船ですか。(レストラン、スポーツジム、プール、シアター、コンサートホールなどが完備され、まるで海に浮かぶ高級ホテル、洋上の旅を心赴くままに過ごせる船)そのような船をイメージした人、残念でした(笑)違います。皆さんの乗っている土屋号は、実は海賊船だったのです。なので、レストランはありません。自分の食べるものは自分で釣り、調理するのです。もちろん、スポーツジムもシアターなどあるはずがありません。なぜならそんな余裕はないからです。皆さんは自分で羅針盤を片手に地図を読み行き先を決める。風を感じたら適切に帆を張る。悪天候で海が荒れていたなら、協力して乗り越える。クジラの群れがあれば、避けるために舵を切る。などなど、生きるために英知を結集し、勇気と希望をもって自分の手で幸せをつかむ船旅をすることになっています。あたかも土屋号は、自分たちで生きるために必要なことを、実践を通して学んでいく海賊船なのです。

先日、3年生は進路保護者会がありました。そのなかで担当の先生から次のような話がありましたね。「進路とは、どこの学校に進学するかという目先の選択ではない。将来を見据えることが大切で、そのためによく考えて進路選択をすることが肝要である。」と。まさに、その通りです。進路選択とは生き方の選択なのです。

そこで、進路と航海を結び付けて話をします。皆さん一人ひとり船長です。そして、自由に行き先を決めて航海することとします。すると、コース、ゴールはみな異なることとなりますね。地図、コンパス、羅針盤などを使い船をどの方角に進め、どの国で食料や燃料を補給するか。その燃料や食料は何日もつか。次の寄港先はどこにするか。このような計画を立てることとなります。このように確実にゴールするためには計画が不可欠ですね。もしゴールも決めず無計画のまま海に出れば遭難することとなります。皆さんの進路も同じです。将来の夢を決める。そこに時を刻み目標とすることが大切です。無計画の進路とは、計画なしで航海することと同じです。私たち教職員は皆さんの自己実現を願い、時に地図になり、時に羅針盤になり、時に南十字星のような星になり、皆さんの航海を助けていく存在だと思っています。「帆を張れ！ 錨を上げろ！ 全速前進！ ヨーソロー！！」

今日の話はこれでおしまい。また来月お会いしましょう。健康に気をつけてね！



ジャック・スパロー校長より、わんポイントアドバイスだよ！